

2007年 春合宿 「20歳の頃」インタビュー

～コミュニケーションの大切さ～

(株) オフィース・マリアージュ 安部社長に聞いて

日本大学経済学部 加藤恭子ゼミナール

A班 牧村 伊東 熊崎

★会社・安部社長さんの紹介★

<会社紹介>

主な事業内容は、結婚式の企画・演出・構成業務に始まり、結婚式における美容・着付け・介添え業務、ブライダルショーの企画・演出・構成業務。

人材の指導、教育、養成の業務、その他ブライダルに関連する一切の業務を行っている会社である。

<安部社長さんの紹介>

～プロフィール～

株式会社オフィス・マリアージュ 代表 安部トシ子さん

大分出身 活水女子学院（キリスト教系）英文科を卒業後、OBS 大分放送に就職、秘書として勤務していた。その後、さまざまな諸事情が重なり、単身で上京し、ブライダル業界に参入。（当時 35 歳）

（参照、一部引用 オフィース・マリアージュHP <http://www.office-mariage.co.jp>）

★インタビュー内容★ （一部を抜粋）

二十歳の頃の安部さんは短大に通っていたため、ちょうど就職の時期に当たる。当時、女性はOLとして働くのが一般的で安部さんも同じような考えを持っていたようだ。一つの職業をやり続けるつもりもなく、子どもは何人欲しいといった「普通の結婚観」をもっていた、将来のビジョンとして社長になろうとは考えていなかったとおっしゃっていた。

また、安部さんは偶然一緒になった同級生、五人と下宿生活をしていたそうで、そこでは、みんな違って当たり前だからこそ互いを理解し合い、人を気遣う大切さや、自分の意見ばかり押しはダメなどと言ったことを学んだそうで、このような学生時代の経験が今の仕事にも役立ってきたということだった。

友人との思い出作りや、人とのコミュニケーションは安部さんにとって今も大きな財産になっているということを私たちも強く感じた。

また、安倍さんは両親に大きな影響を受けたそうだ。両親が会社を興し、協力して頑張る姿を子供ながらに興味を持ち見ていたそうだ。20歳の頃、社長になりたいという気持ちはなかったものの、人の先頭に立って旗振り役をするのが似合う環境にあるとは感じていたとおっしゃっていた。

これから、起業を考えるとしたら何が必要だと思いますか？という質問をしたところ、「諦めない心」と「生きる上でのマナー」ということだ。自分が決めたことはやり遂げるのだというファイトを持つことが大切。また、人間の基本となる最低限のマナーは自ら意識して鍛えることが今の若者には必要とのことだった。

これからの新入社員に求めるものは、責任感と思いやり。自分に与えられた仕事は自分自身で作り上げることが必要であり、そのために準備を怠らず、わからないことは予習し、聞くことも大切なことである。また、仕事は一人でやっているわけではない、周りへの気配りを忘れず協力し合うことも忘れてはならないとおっしゃっていた。

★私たちのこれからの課題★

- ・ いろいろな人との出会いを大切にし、コミュニケーション能力を高める！
- ・ 責任感と思いやりのレベル up！

★インタビュー・発表を終えて★

「20歳の頃」というテーマで、このゼミの入り初めての活動をしたわけですが、このインタビュー・プレゼンは、これから本格的にゼミ活動をやっていく上で、必ず生きてくると思います。また、3人で協力して1つのことに時間をかけて取り組めたのは、貴重な経験になりました。他のメンバーと共に力を合わせ、取り組んでいくということをこれからも続けて、更にレベルの高い活動ができるように頑張っていきたいです。

安部さんは優しい言葉で丁寧にインタビューを受けてくださり、人を相手にする仕事をされている安部さんの人柄そのものだったように感じました。最後に頂いた、「学生生活を謳歌してください」という言葉を胸により充実した大学生活を目指していきたいです。大変、多忙な中私たちのインタビューに応じて下さった安部さんには改めてお礼申し上げます。